

癌化学療法 投与計画書（新規・変更）

カルテ番号
氏 名
生年月日
性別

提出日
主治医:

病名:再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫・再発又は難治性の濾胞性リンパ腫

患者本人へ説明した内容:

プロトコール名:エブキンリ【皮下注】DLBCL・FL(Grade3B)(1コース目)

クール目
開始日
次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)

確認事項

- サイトカイン症候群のリスクがあるため1サイクル目は入院検討し、特に初回の48mg投与後48時間は必ず入院で行うこと。
- エブキンリ投与当日の内服(デカドロン、レスタミンコーワ、カロナール)は注射オーダーで入力。翌日以降は内服オーダーで入力が必要。

							Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	...	Day 8	Day 9	Day 10	Day 11	...	Day 15	Day 16	Day 17	Day 18	...	Day 22	Day 23	Day 24	Day 25	...	
	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月 0日	1月 1日	1月 2日	1月 3日		1月 7日	1月 8日	1月 8日	1月 9日		1月 14日	1月 15日	1月 16日	1月 17日		1月 22日	1月 23日	1月 24日	1月 25日		標準投与量
1	デカドロン錠(4mg)		4錠	経口		エブキンリ投与30分～2時間前に内服	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		
	レスタミンコーワ錠(10mg)		5錠	経口			○																				
	カロナール錠(200mg)		5錠	経口			○																				
2	エブキンリ	0.16mg/body	0.16mg	皮下注			○																				0.16mg
		0.8mg/body	0.8mg									○															0.8mg
		48mg/body	48mg														○					○					48mg

1サイクル: 28日
投与日: エブキンリ day1,8,15,22

- ※何らかの理由により予定された投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。
- 0.16mgと0.8mgの投与間隔が8日を超えた場合は1サイクル目の投与方法に戻す。
 - 0.8mgと48mgの投与間隔が14日を超えた場合は1サイクル目の投与方法に戻す。
 - 48mgの最終投与から6週間以上の間隔があった場合、次クールは1サイクル目のレジメンを使用すること(この場合、1サイクル目のレジメンは投与回数にカウントしない)

- 《注意事項》
- 1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
 - 2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。